



2015年

5月9日/土 - 5月17日/日

早川ユミさん 在廊日 9日(土)、10日(日)

OPEN 11:00 - 18:00 | 5月13日(水) 定休日

●ちくちくワークショップ2015のお知らせ
日時/2015年5月10日(日) 詳細は別紙をご覧ください。

早川ユミ プロフィール

アジアの手紡ぎ、手織布、藍、黒檀の実、ラックなど草木染め、泥染めの布、山岳少数民族の布、柿渋で染めた布、リトアニア麻布でちくちく手縫いで、衣服をつくり、あちらこちらで展覧会をひらいている。夫である、陶芸家の小野哲平の窯たきを手伝ったり、種まき、木を植える、アジアの布を探して、家族で旅する。ときどき、セツローさんのとふたり展をひらく。

うつわ 菜の花

小田原市南町1-3-12 電話(0465)24-7020

小田原駅東口より箱根方面へ向かうバス利用[箱根口]バス停下車徒歩3分

<http://utsuwa-nanohana.com>

●
小野セツローさん
早川ユミさん
絵日記展

わたしに、摘み草の料理を教えてくれたのは、いま、85歳になるセツローさんです。セツローさんは、つれあいのテッペイの父です。わたしとセツローさんは、好きなものが、とてもよく似ています。

はさみと包丁が好き。そしてわたしもセツローさんも、牧野植物園が大好きです。ふたりで、牧野富太郎の生き方に共鳴してなんども足を運びました。ふたりとも牧野富太郎の植物への想いの深さが好きなんです。牧野富太郎の植物へのめりこんでゆく、もうすごい好きという、好きさ加減を尊敬しています。ものつくりや、ちくちくのごとも、この牧野富太郎みたいな、熱中力、集中力、好きがだいじなのです。もうほんとうに好き、大好きなことが、ちくちくのごごとには、ひつようです。好きだと、苦労とか、たいへんとか思わないで、ひとりで自然にやっちゃっているんです。セツローさんも、絵を描いたり、粘土でちいさな仏さまをつくったり、トンボ玉のかんざしや、木のへらやスプーンをつくっています。こういうものつくりが好きで好きで、つい時間を忘れてつくってしまうんだそうです。85歳のいまも、絵を描いたり、展覧会をひらくものつくりの現役です。セツローさんは、つくり続けているすがたを、わたしたちのこどもたち、孫にも見せて、伝えているのです。たいせつなことは、何十年を生きるのではなくて、春の野草のように、いちにち、いちにちを暮らすことだと。「種まきびとの絵日記はるなつきふゆ」より(早川ユミ著 天然生活ブックス刊)

自分がセツローさんとユミさんのことを書こうと思っていたらユミさんがセツローさんのことを書いていました。自分は何もいえませんでした。残念です。「種まきびとの絵日記」を一枚ずつめくっている自分です。

2015年4月22日 ●菜の花 高橋台一

